



鶴見 義明 議員
(日本共産党議員団)



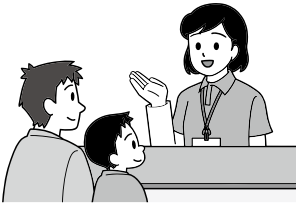
市民課窓口業務の民間委託について

Q 市民課窓口業務は直接市民に関する個人情報を取り扱う部署であり、個人情報保護の観点から、安全性を懸念するところである。県内14市で初めてと言われる市民課窓口業務の民間委託を導入した理由について伺いたい。

A 市長

市民課窓口業務において、民間のノウハウを生かした市民サービスの向上及び業務の効率化を目指し、民間委託を導入することとしました。民間委託をすることで、窓口業務の繁忙期や閑散期に合わせた柔軟な人員配置が可能となり、職員の定期異動による一時的な市民サービスの低下を防ぐことができ、安定した質の高い市民サービスの提供が期待できるものと考えています。

その他の質問
☆教育行政について



旗川中流域の堆積土砂について
神宮次 秀樹 議員
(政友みらい)



旗川中流域の堆積土砂について

Q 旗川中流域の中でも特に堆積土砂が多いと思われる御神楽橋から三好橋の間の約5キロメートルの部分について、これまで地域住民からの声として、堆積土砂の運び出しの要望を県に対して行ってきたが実施されていない。早期改善のため、市としてどのように対応するのか伺いたい。

A 都市建設部長

管理者である栃木県に問い合わせたところ、令和4年度は室の沢橋の下流側約200メートルの区間において、堆積土砂除却工事を発注済みで、10月頃から施工になると伺っています。今後、適正な河川管理の一環で早期に堆積土砂除去に取り組んでいくことを確認しています。本市としても、これまでと同様に地元の皆様と一緒に、災害発生の予防及び災害の拡大を防止できるよう、引き続き要望していききたいと考えています。

その他の質問
☆渡戸橋復旧工事の現況と周辺整備について
☆堆積土砂の有効活用について
☆アリーナたぬま南側駐車スペースの修繕工事について

様と一緒に、災害発生の予防及び災害の拡大を防止できるよう、引き続き要望していききたいと考えています。



進化する佐野市・選ばれる佐野市について
田所 良夫 議員
(新風)



進化する佐野市・選ばれる佐野市について

Q 8月10日の下野新聞の報道によると、「文化庁の有識者会議は、スポーツ庁の有識者会議が6月に公表した運動部の移行スケジュールと同じ2023年度から2025年度を改革集中期間に設定し、自治体に推進計画の策定を求め、将来的に平日の部活も学校から切り離す検討を進める」とあった。これらを感じ、受け止め、対応しようとしているのか伺いたい。

A 教育長

地域への部活動移行は運動部が先行していくようにとらわれがちですが、文化部も含めて推進していきます。教師の長時間労働の要因の一つが部活動指導であると言われ、国の方針や社会情勢等を鑑みたとき、本市としても丁寧かつ迅速に進めていかなければならないと受け止めています。

